

政策	43 健康づくりの充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	市民の健康を保持するための総合的な取り組みや意識の啓発を図るとともに、妊娠・出産・乳幼児期を通して親と子の健康を確保する。						
成果指標	1 健康づくり対策に対する市民満足度... 80% (平成29年度目標値) (現状値61.2%) 2 標準化死亡比(SMR)がん ...100 (") (現状値103.8%) 3 標準化死亡比(SMR)心疾患 ...100 (") (現状値120.8%) 4 標準化死亡比(SMR)脳血管疾患 ...100 (") (現状値141.7%)						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [%]	予定					80.00
		実績				60.90	
	成果指標2 []	予定	100.60	100.40	100.20	100.10	100.00
		実績	103.80	101.90	95.50	97.10	
	成果指標3 []	予定	113.00	110.00	106.00	103.00	100.00
		実績	120.80	127.50	121.20	117.70	
	成果指標4 []	予定	132.00	127.00	118.00	109.00	100.00
		実績	141.70	142.20	142.60	141.20	
	トータルコスト (千円)	予定	1,391,901	1,558,298	1,564,024	1,476,699	
実績		1,144,950	1,486,517	1,448,708	1,404,496		
内部評価	貢献度	乳幼児期から早期に健康づくりを支援し、健診や教室等による早期発見・健康増進を図ることは、健康で生きがいを持てるまちづくりに大きく貢献する。					
	達成状況	がんの標準化死亡比は達成できているが、心疾患・脳血管疾患は達成できていない。					
	課題	特に脳血管疾患死亡の成果が得られていないため、基礎疾患やリスクについて、重点的に取り組んでいくことが必要である。					
	取組方針	健康づくりの機運を高め、健康づくりの基本的な考え方をわかりやすく示すため、健康都市宣言を行う。					
外部評価	成果指標2のがんについては、早期発見・早期治療が功を奏していると思われるので、がん検診受診率の向上に努めて欲しい。 成果指標の標準化死亡比が健康づくりの結果としてどう結びつくのが見えない。指標のみでは死亡者数がわからないので、重要な施策がどこにあるべきなのかわからない。						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	4302	市民の健康づくり支援				346,119	100
	4303	母子保健の充実				207,268	98
	4301	予防対策の強化				851,109	87

施策	43 健康づくりの充実		
区分	妥当性	妥当	健康増進法等法令で市が実施すべき事業であり、健康づくりを推進するため妥当である。
	コスト削減の余地	有	事業の統合化を図ってきたが、一部統合化が図れていない事業があり、コスト削減の余地はある。
	受益者負担	適正	健康づくりは誰でも取り組めることが必要であり、受益者負担を求めることは好ましくないため適正である。
	上位貢献度	有効	健康づくりを充実させることは、健康で生き生きとした生活につながることから、貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	健康づくりを総合的に推進している類似の事業はない。
	成果向上の余地	有	特に脳血管疾患は目標値を達成できていないため、強化して取り組むことにより、成果向上の余地がある。
内部評価	貢献度	本市では壮年期の死亡率が、国や栃木県と比較し高い状況であり、乳幼児期から早期に健康づくりを支援し、健診や教室等による早期発見・健康増進等を図ることは、健康で生きがいを持てるまちづくりに大きく貢献する。	
	達成状況	3つの成果指標を見ると、がんの標準化死亡比は目標値を達成できているが、心疾患と脳血管疾患は達成できていない。心疾患や脳血管疾患は死亡率は減少しているが、国と比較すると高い状況である。脳卒中の発症を予防するための周知を行っているが、効果は得られていない。モデル地区については、地区の選定や協力団体に検討を要するため、実施には至らなかった。	
	課題	脳血管疾患死亡の成果が特に得られていない。その基礎疾患となっている高血圧や糖尿病・高脂血症などで受診している人が多いことから、医療機関と連携しながら、疾患の管理をきちんと行っていくことが必要である。リスクとなっている減塩や肥満解消等を重点的に取り組んでいくことも必要である。	
	取組方針	全市的に健康づくりを広げていくためには、具体的な健康づくりの取り組みを進めている健康増進計画推進部会や庁内ワーキング等の関係団体や関係課と現状を共有し、重点領域を絞り、関係団体等と協力して進めていく。また健康づくりの機運を高め、健康づくりの基本的な考え方をわかりやすく示すため、健康都市宣言を行う。	